

1 題材名

「え！約100年前に、校門の前を蒸気機関車が本当に走っていたの！」＜3年～6年地域学習・総合的学習＞
～『開府900年記念①』千葉公園から穴川・花見川団地を横断していた旧陸軍鉄道第一連隊の話～

2 授業のねらい

- ①戦時中千葉市は「軍都千葉」と呼ばれていたくらい旧陸軍関係の施設が多くありました。その中に一つが、鉄道第一連隊という軍隊の演習用の軍用鉄道でした。当時は蒸気機関が使われ、その施設は千葉公園から稲毛区の穴川・柏台を抜けて、花見川団地、津田沼まで至るコースに線路がひかれました。今も千葉公園のモノレール駅のそばには、当時作られた軍用鉄道用のトンネルが残っています。
- ②この授業は、今はもう見るできないが100年位前には確実に存在していた中央区・稲毛区・花見川区の学校周辺の地域の歴史を掘り起こし、博物館の豊富な資料や戦前の地図を使って子供たちに自分の地域の歴史を知ってもらいたい、新しい発見をしてもらいたいという目的で行う授業です。

3 指導計画上の位置付けと各学校での取り上げ方（1時間版や、短い時間の版としても可能）

- ◇3年指導計画（4）「市の様子と人々の暮らし」・6年指導計画（11）「長く続いた戦争と人々の暮らし」と関連した学習ですが、短い時間で他の題材と一緒に取り上げて新しく学習を組み立てることもできます。
- ◇各学校の地域ごとに、**総合的学習の時間や地域の昔の様子を学ぶ学習**として取り上げると効果的です。

4 予想される授業の流れと指導資料

- ①現在から100年間位の年表を示し、その下に各学校の創立年を含めて学校周辺の出来事や千葉市の出来事のカードを貼り、今から〇〇小学校の約100年を俯瞰できるようにする。
- ②学校周辺の道路の画像を示して、100年前にあった乗り物は何か予想する。今昔マップ（昔の地図）を読み取り、千葉市の明治時代の地図から軍用鉄道（旧陸軍の鉄道第一連隊の演習線）をさがす。
- ③何枚かの鉄道連隊の写真を示して、○軍用鉄道とは何か？ ○鉄道線を作った目的は？ ○軍用鉄道は何を運んでいたのか？を資料から読み取り、鉄道連隊の具体的なイメージを話し合う。
- ④今も千葉公園に残る鉄道連隊のトンネルの動画を視聴して、千葉公園から延びる鉄道地図を資料として、鉄道連隊の路線は、どこからどこまでなのか調べて話し合う。さらに、津田沼から松戸に伸びる鉄道第二連隊も当時は存在していて、その名残は現在も津田沼から新京成の路線として同じコースであることを伝える。
- ⑤学校の周辺には約100年前に蒸気機関車が走っていたことについて、おどろいたことやわかったことを現在と比べて付箋紙に書き、グループで見せ合って意見を交換して、自分の地域の歴史の変化を理解する。

＜活用する資料＞

- ◎「軍都千葉と千葉空襲」当館 令和2年度特別展図録
- ◎「千葉いまむかし」市教委発行刊行物
- ◎当館蔵 鉄道第一連隊の当時の写真や資料
- ◎今昔マップ on the web（昔の地図が見られるサイト）

5 指導上の留意点、その他

- ◇開府900年を間近に控え、今は忘れられてしまった**各地域の昔の歴史資料を掘り起こして教材化する学習**は、子供たちにとって地域理解や郷土愛を育てるために、とても意義のある学習だと思います。
- ◇この学習は、基本的に**鉄道第一連隊の路線である中央区・稲毛区・花見川区周辺の小学校で行う「地域の昔を学ぶ学習」**ですが、もちろん他の地区の小学校でも、内容を一部変更して行うことは十分可能です。
- ◇鉄道連隊の写真資料や文書資料について資料相談や授業相談を希望する学校は、ぜひご連絡してください。